



徳成寺 寺とちから版 第121号2017年1月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

穏やかな新春を迎えておられることとお慶び申し上げます。

2017年は、皆さんどんな年にしたいですか。それぞれに夢や願いがあると思います。その実現に向けて頑張りましょう。

阿弥陀仏は東西南北四維上下の十方の衆生を救うという誓いを建てられました。

これは私たちの目があちらこちら見ている様で、自分中心に一方向にしか物事や世界を見ていないことを憐れんで下さってのことです。私たちにはまだまだ眼差しを向けたことのない世界が、足元に深く遠く広がっているはずです。

今生きている世界が一新するよう好奇心を全開にして、目を覚まして参ります。

本年もどうぞよろしくお祈りします。

*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

一発行責任者
住職
大山健児
坊主
大山ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

あけましておめでとうございます。

12月初めに感染性胃腸炎に感染し、とても辛い思いをしましたが、相も変わらず、自炊ライフを送っています。

普段、私の食卓の主戦力は豚肉、鶏肉で、安い、早い、美味しい、片づけが楽であれば尚良しがモットーなのですが、年の瀬くらい牛肉食べたいと思ひまして、ごぼうのしぐれ煮を作ってみました。

初めて作った割にはかなり良い出来で、ご飯が非常に進むので、2016年、良い締め料理が出来たと。

今年も色々な食べ物を食べて幸せに暮らしたいものです。